



2015年12月8日発行
自治労様似町役場職員組合青年部
第1号 発行者 釣 亮 典



新執行体制が決まりました

11月12日の定期部会において、新役員が承認されました。
新執行体制のもと、今後一年間活動していきますので、部員皆さんの積極的な行事の参加とご協力をよろしくお願いいたします。



2016年度新執行体制

部 長	織 田 貴 裕	監 査	高 橋 駿 平
副 部 長	大 高 悠 貴		木 村 将 大
書 記 長	小 椋 博 子	委 員	鈴 木 悠 椰
書 記 次 長	猪 股 拓 也		加 藤 聡 美
会 計	樋 口 葵 惟		大 宮 光
青 年 幹 事	久 米 悠 都		藤 田 健 太
日高地方本部青年部副部長	釣 亮 典		石 川 雄 貴
			前 田 玲 央

新三役より一言

今年から様似町「青年部」となりました、部長の織田です。
副部長・書記長及び役員とともに1年間頑張りたいと思います。
まずは交流をメインに輪を大切にしていきたいと思います。

新部長 織 田 貴 裕

2016年度より副部長となりました大高です。
今年度も部員の「ワ」を大切にしていけるよう、部長や役員と
協力しながら組合活動・交流会等の企画など頑張っていきたいと
思いますので、よろしくお願いいたします。

新副部長 大 高 悠 貴

様似町青年部で書記長を務めることとなりました。
書記長の役目は、青年部活動の事務全般ですが、スムーズに事が進
むように部長・副部長のサポートに努めたいと思います。
1年間よろしくお願いいたします。

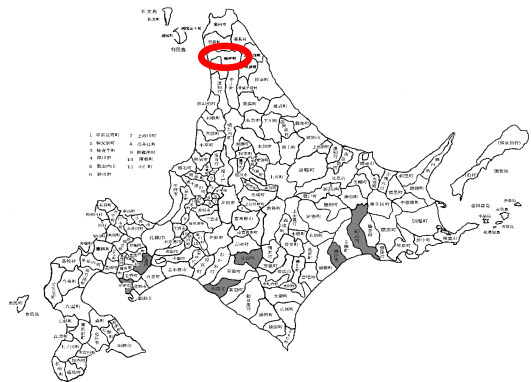
新書記長 小 椋 博 子

11. 23幌延デー北海道青年女性学習会に行ってきました

11月22日～23日にかけて幌延町で開催された幌延デー北海道青年女性学習会に参加してきました。

そもそも幌延ってどこなの？という方は右の地図をご覧ください、稚内市の近くの町です。

※様似から約8時間掛かります…超遠かった(;_ _)



幌延デー開催の経緯

- 1982年 幌延町が低レベル放射性廃棄物貯蔵施設誘致を表明。
- 1984年 4月 動力炉・核燃料開発事業団が貯蔵工学センターを幌延に建設する計画を発表する。
- 〃 7月 当時の横路知事が高レベル核廃棄物処理施設・調査に反対。周辺7市町村の有権者対象の署名の結果71.8%が反対と回答。
- 1985年11月23日** 動力炉・核燃料開発事業団が深夜に地上踏査を強行。
→翌年から幌延デーが始まる
- 1986年 8月30日 動力炉・核燃料開発事業団が深層ボーリング調査を強行
- 1988年 幌延適地宣言
→反核平和の日リレー始まる
- ※幌延デーが始まる要因となったことだけ記載しているため、かなり省略しております。

この集会はどんな集会かザックリ言うと原発についての集会です（大分ザックリ言いましたが）。

この集会が始まったのは1984年にまで遡り、今回で30回目になります。

1日目、22日の15時に宿泊地の中川町に到着し、前日学習会として参加者30名で4グループに分かれ分散会を行い、当時の幌延で発行された新聞や資料の読み合わせを行い、各自の原発についての考えなどを話し合いました。

2日目、集会会場の天塩町へ移動し福島県本部青年部副部長の佐々木 佑（たすく）さんから福島の現状などの講演がありました。

講演が終わってから幌延町へ場所を移し、スキー場と思われる場所で集会を行い（真冬の外で）、それから町内をデモ行進しました。

外での集会が約2時間あり、予想以上に寒かったので来年行こうと思っている人は防寒着と長靴が必要ですので忘れずに持って行きましょう！

私は、この集会に参加して貴重な体験が出来たと思いますし、自分の中で原発について見方や考え方が少し変わったような気がします、集会の中で日高管内も原発を建てる候補に入っているという話を聞いた時は驚きましたが、原発が建てられることが無いよう運動をしっかりと続けていくことが大切だと実感しました。

